

工学部教室系技術職員研修(第13回)実施要項

1. 目的

教室系技術職員としての立場と責務を自覚させるとともに、大学における技術職員全般への視野を養い、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員としての資質の向上及び新技術の習得を図る。

2. 対象者

工学部教室系技術職員全員

(超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センター及び大学院情報科学研究科のうち工学部に勤務する者を含む。)

※「情報科学研究科のうち工学部に勤務する者」には、平成16年4月に工学部から情報科学研究科に勤務場所が変更になった者を含む。

3. 期間

平成16年9月7日(火)～平成16年9月9日(木)

(台風18号接近により、9月27日(火)分は10月22日(金)へ変更)

4. 場所

大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール

5. 日程

別紙のとおり

6. 研修テーマ

工学部教室系技術職員による技術の継承、発展及び開発について

7. 研修方法

①基調講演及び講演

②学外施設見学(関西国際空港)

③専門分野等によるグループ又は個人単位によりテーマを設け、研究成果の発表を全体研修の場で行う。

(発表は、口頭発表のほか製作物やパネルを展示し、質疑を行うことも含む。)

8. 講師

①基調講演講師 関西国際空港株式会社建設事務所所長 白石修章

②講演講師 大学院工学研究科教授 藤田正憲

③技術職員講演講師 工学部技術専門職員 宮本丈二

9. 研修のまとめ

研修終了後、報告集を発行する。

10. 経費

受講者の研修に要する経費は、工学部の負担とする。

なお、懇親会費は受講者の負担とする。

11. 研修の記録等

研修を修了した者には修了証書を交付し、その旨人事記録に記載する。

12. 研修担当掛

工学部等総務課人事掛(内線7207・7208)